



公益社団法人
滋賀県理学療法士会

ニュース

No.196 (2016-3)

<http://www.shiga-pt.or.jp>

2016.6.1発行

発行者：(公社) 滋賀県理学療法士会 本白水 博
〒520-0804 大津市本宮2丁目9-9
大津市民病院 リハビリテーション部
電話 077-526-8357 FAX 077-521-5414

編集者：龍本 隆 (公立甲賀病院)
高島 健太 (公立甲賀病院)

印刷所：(有) 東 呉 竹 堂 (ひがし印刷)

リハビリテーション医の現状と滋賀県の実状

公立甲賀病院 リハビリテーション科 医師 平田 知大 氏

平成 12 年に回復期リハビリテーション病棟（回りハ病棟）が医療保険に創設され、現在では同病棟においてリハビリテーション科（リハ科）を標榜する必要があり、リハビリテーション医（リハ医）が以前より身近な状態となった。だが実際は滋賀県においてリハ医は社会通念を獲得したとは言い切れない状況が続いている。そのため本稿では滋賀県の実状を加えリハ医の現状を紹介する。

私はリハビリテーションの語源となった「Re（再び）-habilis（適した）-ation（する）」を敬愛しており、リハ医に関しても語源の延長の職業の一つと考えている。つまり困っている人が再び人間らしく快適に健やかに生きていくために、医師として活動するに過ぎない。身体障害者診断書・意見書、装具処方や内服処方、諸検査等医師にしかできない業務は当然のことであるが、重要な事はリスク評価と責任である。内科的、外科的観点から各々の人を評価し適切な判断を下すこと、またその判断に責任を持つことがリハ医である。また判断には優先順位があり、所謂「この程度であれば目をつぶってもいいかな」と判断すれば各々に任せる度量がある一方で常に大局観を持ち「これだけはだめ」と判断し、また「これはやばい」と判断した時に適切なリカバリーショットを放てるかどうかリハ医の存在が懸かっていると肝に銘じている。このように内科、外科など様々な医療知識、経験が問われるのがリハ医の宿命である。平成 16 年から初期臨床研修制度が必須となり、同年以後の医師は 2 年間様々な科を廻りながら鍛錬を積んでいる。私もその一人であり 2 年間内科の救急で恐ろしい思いをしながら敲かれたことが、今の土台となっている。この制度はリハ医という観点からは有利な制度になっていると考えている。

さて、そのリハ医の現状であるが日本リハ医学会専門医制度は 1980 年に発足し 2016 年 4 月段階において

リハ科専門医は 2143 名である¹⁾。リハ科専門医は日本専門医機構で定められた基本 19 領域の一つであるが、基本領域では非常に専門医数が少ない診療科である。高齢化を迎えリハ病棟が更に増加することが予見される中で、リハ医は全国的にも絶対数が不足している。2015 年 4 月の時点で回りハ病棟を有する病院にリハ科専門医が勤務する割合は、栃木県 61.5%、京都府 56.5% を上位に、全国平均 29.4% に対し滋賀県 12.5%、福井県 11.1%、山口県 10.5% と大きな地方格差がある²⁾。また滋賀県は県内リハ科専門医総数 20 名¹⁾ と数の点からも、リハ科専門医の課題となっている。リハ科専門医が少ない県では、そもそも研修を受けられる病院が少なく、結果専門医が育たず、専門医がいなかったため研修指定病院が少なくなるという負のスパイラルに嵌まり込んでいる。また研修施設に限られるが故に、リハへの経験、知識等が豊富な医師であってもリハ科専門医を取得できないという矛盾も抱えている。加えてリハ科医が少ないため、病院内での存在意義や社会的位置も獲得できておらず、ますますリハ科を志望する医師が少ないというジレンマに陥っている。そのため滋賀県でリハ科医を志す医師が他府県で研修を重ね、結局滋賀県に帰らないことも課題である。今後この県でリハ医として携わることに誇りを持って活動していくことが、この状況を打破する第一歩になると信じて業務を日々行っている。

最後にリハ医が少ない状況で、実際に私も病院内リハ科医師独りという環境で勤務している。そのため各研修や種々の教科書の勉強だけでなく、療法士の指導により今の私がいることを常に実感している。このようなリハ医過疎県でもリハ医の一人として鍛錬を積み頑張ることが今後リハ科の後進に繋がると信じ、滋賀県にリハ医が増えることを望んで止まない。

文献

1) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会 URL:<https://member.jarm.or.jp/specialist.php>

2) 石川誠：回復期リハビリテーション病棟をさらに進化させるために Jpn J Rehabil Med 2016;53:190-196

熊本・大分地震における支援活動についてのお願い

公益社団法人滋賀県理学療法士会
会長 本白水 博

震災でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

このたびの熊本地震により、熊本県内各地域において甚大な被害が発生し、現在「熊本県災害リハビリテーション推進協議会」として、被災者に関する情報収集とリハビリテーション支援活動のための体制整備が進められています。

それに伴い滋賀県 JRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）より県内理学療法士を避難所などの現地に派遣可能な要員について問い合わせが寄せられております。JRAT の構成団体として日本リハ医学会・日本 PT 協会・日本 OT 協会・日本 ST 協会・日本リハ病院施設協会・全国回復期リハ病棟連絡協議会・全国訪問リハ研究会・全国デイケア協会など多数が参加しています。日本理学療法士協会も JRAT を全面的に協力するよう各士会に通達を出しております。発災からの時期によって変動しますが、派遣スケジュールは 4～6 日程度で、日本医師会（JMAT）の傘下でリハ派遣活動を行いますので、活動費や補償などは日本医師会に準じて行われることになっています。

滋賀 JRAT では、まず 5 月 2 日に派遣の予定になっており、今後継続的な支援が必要であるため会員の皆様の支援が必要となります。この原稿を作成したのが 4 月下旬であるため皆様のお手元に届く 6 月上旬とでは情勢が大きく変化し、支援内容も変わることも予測しますが取り急ぎ報告させていただきます。

本会の直接的な事業ではありませんが、JRAT に全面的に協力するため、上記を踏まえていただいたうえで、派遣登録についてご紹介し、派遣可能な方がありましたら下記までメールでご連絡いただきますようお願い申し上げます。

士会ホームページにも掲載を予定しています。

1. 職員の活動内容等

要支援者等に対する生活不活発病の予防及びリハビリテーション活動の実施

2. 問い合わせ先

士会災害対策委員長 生田病院 辻 修嗣

メール：pt_st1971@yahoo.co.jp

または

士会熊本地震対策本部長 会長 本白水 博

メール：ptshiga@ares.eonet.ne.jp（事務局）

平成 28 年度第 1 回公益社団法人滋賀県理学療法士会理事会議事録 (要約)

開催日時：平成 28 年 4 月 14 日 (木) 18 時 05 分～20 時 30 分

開催場所：滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション科控室

出席理事：本白水博、平岩康之、弘部重信、松岡昌己、吉田環、酒井英志、石井隆

現在理事数：11 名 監事数：2 名 議長：本白水博

○報告事項

各部・各委員会報告

総務部・事務局 (平岩副会長)

- (1) 総会資料作成中
- (2) 年度末会員 859 名 未納退会 4 名
- (3) 平成 27 年度は地域包括ケアブロック活動費に補助金を活用したので赤字にはならなかった。

広報部 (石井理事)

- (1) 地域包括ケア各ブロック報告を 6 月号から 7 ブロックリレー形式で掲載予定。

厚生部 (石井理事)

- (1) フットサル大会に関して、昨年度の士会員の意見を尊重すべく方策を検討中。レフリーの派遣依頼を費用も含めて検討中。

- (1) 新人歓迎会 6 月 19 日 大津あたか飯店

生涯学習部 (川崎理事)

- (1) 第 1 回新人研修会 6 月 19 日(日) 大津

学術誌部 (弘部副会長)

- (1) 部長交代 新部長：小原典和氏 (甲西リハ)

教育部 (弘部副会長)

- (1) 滋賀県理学療法士会 7 月 31 日(日) 学術集会の演題 募集期間 1 ヶ月延長

診療報酬部 (文書報告)

- (1) 診療情報交換会 4 月 17 日(日) 野洲病院

介護保険部 (吉田理事)

- (1) 生活支援系研究会 6 月 12 日 (日)
第 1 回生活支援系研究会 ～地域リハビリテーションで求められているもの～
テーマ「理学療法士が知るべき地域リハビリテーション」講師：備酒伸彦理学療法士 滋賀医大医学部附属病院 1 階多目的室

保健福祉部 (弘部理事)

- (1) 4 月 30 日 (土) 第 1 回定例研修会「装具について」場所：成人病センター

公益事業部 (酒井理事)

- (1) 理学療法週間イベント
『介護予防・健康増進推進キャンペーン 2016

(全国統一開催)』

7 月 19 日(日) 10:00～11:30

内容：「肩痛体操について」地域住民に対して介護予防・健康増進をテーマとした公開講座
講師：東近江市蒲生医療センター 杉澤 輝彦氏 (滋賀県介護予防推進リーダー)
場所：近江八幡市内を検討中
※大津圏域でも 7～9 月開催予定

各会議報告・その他

県の基金事業について (本白水会長)

3 士会で顔合わせをする。研修は各士会ごとでも可能。本年度は 3 士会で市町とのパイプ作りをしていく。

○審議事項

第 1 号議案 提出：本白水会長

議案内容：本士会事務局の移動について

審議内容・結果：現在、大津市民病院に事務局があるが、職員の移動で事務局機能の維持が困難となっている。将来的に県の新施設へ移転を推進していくが、その間、事務局を湖南市に移動する。以上承認された。

第 2 号議案 提出：本白水会長

議案内容：管理者研修について

審議内容・結果：管理者育成のために協会本部主催で研修会 (6 月 5 日) が開催される。この研修会に参加する管理者代表者 2 名 (異なる分野) を選出し、県士会での講師候補とする。5 月 22 日の滋賀県士会の管理者研修会は理事会が主催する。以上承認された。

第 3 号議案 提出：平岩副会長

議案内容：定時総会議案書および監査報告について

審議内容・結果：5 月 22 日の定時総会議案書について議論し、監査報告も含め理事会で

承認する。定時総会後に臨時理事会にて役員を選任することを承認する。

第4号議案 提出：石井理事

議案内容：障がい者スポーツ支援について

審議内容・結果：支援対象・内容、どのような形で進めて行くのか、主旨も含めて具体的にない。まずは、現在、障が

い者スポーツに関わっている士会員やこれから関わろうとしている士会員等の情報交換の場を設ける。その上で、当法人の事業として適切な支援方法や内容、どのような形で進めて行くのかを理事会で検討する。準備事務を石井理事が担当する。以上承認された。

障がい者スポーツ支援に関する情報交換会について

第79回(2024年)国民体育大会と同じ年に第24回障害者スポーツ大会も滋賀県で開催されます。当理事会では国民体育大会に向けて、国体支援委員会が立ちあがりましたが、滋賀県体育協会のコンディショニング部会に所属して活動していく事となっております。当士会としては、職業上も関係の深い障がい者のスポーツ大会も国体支援委員会と連携し、支援していく事が理事会で承認されました。しかし、まだ、具体的な枠組みが決まっていません。障害者スポーツ大会に限定するのか？障がい者スポーツ全般にわたって支援をしていくのか？委員会組織にするのか、研究会にするのかなど支援内容は未定です。

すでに障がい者スポーツに関わっている会員、これから関わりたいと志す会員もいると聞いております。そこで、興味のある会員が一同に会して情報交換会を開催したいと思います。

1) 情報交換の内容

- ①障がい者スポーツに対する士会事業としての支援内容について
- ②支援内容を具体化するための会のあり方
- ③障がい者スポーツに関する情報交換
- ③その他

2) 開催について(開催日時が決まりましたら士会HPにも掲載します)

まず、お集まりいただける方でスケジュール調整をいたします。

参加してみたい方、興味のある方、参加はできないけれど連絡だけでもほしい方。

まずは、下記の内容を連絡先までお願いします。

締切 6月17日(金)

- ①名前
- ②所属
- ③参加するのに都合がつきにくい曜日や時間、開催場所の希望
- ④障害者スポーツに関わった経験、参加は困難だが情報連絡だけでもほしい等のご意見。
情報交換会で話し合いたい内容、研修してほしい内容等、なんでもご意見をお願いします。
- ⑤連絡先電話 FAX、E-mail(件名に必ず「障がい者スポーツ情報交換会」と記してください)

連絡先

石井 隆 済生会滋賀県病院 リハビリテーション技術科

TEL:077-552-1221 E-mail:ishii-t@saiseikai-shiga.jp

地域包括ケアへの取り組みについて

地域包括ケア推進委員会 委員長 松岡 昌己

ここ数年、「地域包括ケアシステム」という言葉をよく耳にします。背景としては、日本の少子高齢化や人口減少があります。2012年は騎馬戦型社会といわれ、65歳以上1人に対して20～64歳は2.4人ですが、2050年には肩車型社会と呼ばれる、65歳以上1人に対して、20～64歳は1.2人になると予想されています。理学療法士の多くは医療保険や介護保険の分野で働いていますが、このままではその制度の維持が困難になってきます。地域包括ケアシステム構築は社会保障制度の維持継続のために不可欠と考えられています。そして、このシステムの構築にリハビリテーションは大いに期待されています（地域包括ケアのシンボルマークのセンターは意図的にリハビリテーション）。その中で理学療法(士)が専門性を持ってこれに貢献できるかどうかは、我々の将来の職域拡大や生活にまで大きな影響を与えることとなります。

そこで当士会は、平成26年4月に地域包括ケア推進委員会を立ち上げ、日本理学療法士協会と協力して地域包括ケアシステム構築に資する①人材育成と②体制づくりを行っています。

①人材育成では、協会の新認証制度である「地域包括ケア推進リーダー」と「介護予防推進リーダー」の取得の実務を行っています。平成28年3月末現在、地域包括ケア推進リーダーの当士会員取得者は61人（全国5,802人）、介護予防推進リーダーは62人（全国5,154人）です。取得方法は協会ホームページをご覧ください、申請はマイページから行います。多くの会員が地域包括ケアを理解し、関わっていただくためにまずこのリーダーになることを推奨します。

②地域包括ケアシステムはそれぞれの市町が進めていく地域づくりといえます。地域に根差した支援や活動を行っていくために、この委員会は県内7保健医療圏ごとにブロック委員会を作り、地域の特色を踏まえたネットワークづくりや研修会を行っています。下記に各ブロックのリーダーを記載しますので、ぜひアクセスしてください。

28年度からは、当会と作業療法士会と言語聴覚士会が共同で「リハビリテーション専門職広域派遣調整事業」を始めます。これは市町の地域包括ケア関連の派遣依頼に応じ、ブロックから先述のリーダー取得者を中心に派遣を行います。危惧しているのは、市町が事業を行うであろう平日の午後に、どれだけ動ける人材が確保できるかという所です。特に会員の中で、平日に融通がきく方は地域リハビリテーションにお力をお貸しください。

最後に、この原稿を皮切りに、次回ニュースから地域包括ケア・ブロック活動をシリーズで行っていきます。住んでいる地域の活動を身近に感じ、気楽にご参加いただけたら幸甚です。



圏域ブロック委員会	ブロックリーダー	委員数
大津ブロック	西山 直樹（大津市健康保険部保健所）	6
湖南ブロック	森 智子（野洲病院）	10
甲賀ブロック	久保 貴弘（甲西リハビリ病院）	10
東近江ブロック	河島 克彦（東近江市福祉総合支援課）	7
湖東ブロック	北川 侑夏（鈴木ヘルスケアサービス）	4
湖北ブロック	湯本 孝（リハマネジメント湯本）	6
湖西ブロック	川島 直之（リハビリデイサービスひまわり）	5

(公社) 滋賀県理学療法士会 学術誌【湖都】 第 36 号原稿募集のお知らせ

学術誌【湖都】第36号に掲載する原稿を募集します。当誌はISSNに登録されており、生涯学習プログラムの単位認定が可能です。是非、ご投稿ください。

学術誌「湖都」では、研究と報告・文献抄録への投稿に対し、研究の公正を保つために査読を実施しています。査読は、研究のデザインやデータの統計学的な検討が妥当かどうかなど、研究がより良いものになるようにベテランの先生方からアドバイスを頂けるよう判定基準を設定させていただいております（詳細はホームページを参照下さい）。

日頃、皆さんが取り組んでおられる研究や活動を発表していただき、研鑽の場に来れるようご協力をお願いします。

< 投稿規定 >

1. 募集内容および執筆枚数

- (1) 研究と報告 実験的研究、調査、症例報告などが対象です。文献、図表を含めて刷り上がり4～6頁(400字詰め原稿用紙17～25枚程度)として下さい。
- (2) 印象記 学会、講習会などに参加しての印象についてまとめてください。研修旅行についてなど含みます。刷り上がり2頁(400字詰め原稿用紙8枚程度)として下さい。
- (3) 文献抄録 英文等に限りです。刷り上がり2頁(400字詰め原稿用紙8枚程度)として下さい。
- (4) 短 報 各部の活動紹介や成果のまとめ。刷り上がり2頁(400字詰め原稿用紙8枚程度)として下さい。
- (5) P T 苦楽部 日頃、PTとして感じていること(苦しいこと、楽しいこと)など自由な意見を随筆風にまとめてください。刷り上がり1頁(400字詰め原稿用紙4枚まで)として下さい。
- (6) 書 評 現在使用中の書籍で、臨床に役立ち、分かりやすい本をご紹介します。書名、著者名、出版社、定価等を明記し、刷り上がり1頁(400字詰め原稿用紙4枚程度)として下さい。

※詳しくは、(公社)滋賀県理学療法士会ホームページ「原稿記入書き方2016」を参照して下さい。

2. 執筆規則

- (1) Wordを原則とします。(その他はお問い合わせ下さい)
「原稿記入書き方2016」別掲に則り、横書き、口語体、数字は算用数字、数量はSI単位とします。
- (2) 外国の人名には原語を用い、タイプまたは活字体で明瞭に書くこと、外国の地名はカタカナ書きとしてください。術語はできる限り訳語を用い、必要に応じて()の中に原語を入れて下さい。

(例) 理学療法 (physical therapy)

- (3) 参考文献・引用文献は引用順に、参考文献はアルファベット順に配列し、文末に掲げて下さい。
- A. 雑誌の場合 (例)
- 1) 今井至：足趾変形矯正装具；エルコトン，ベルコプラストの活用，PTジャーナル 26：188- 190，1992
 - 2) Greer M.et al:Physiological responses to low-intensity cardiac rehabilitation exercises, Phys Ther 60:1146-1151, 1980.
- B. 単行本の場合 (例)
- 1) 千野直一：臨床筋電図・電気診断学入門，第2版，1981
 - 2) Basmajian JV : Muscles Alive.Their Functions Revealed by Electromyography, 4thed Williams & Wilkins, Baltimore, 1979.
- (4) 別紙「湖都・投稿承諾書」・「投稿論文チェック表」に必要事項をご記入いただき、投稿時に添付してください。(原稿を御寄稿いただける先生には学術誌部より「投稿承諾書」・「投稿論文チェック表」を送付させていただきますので下記アドレスまで御連絡下さい。)
- (5) e-mailでの投稿を優先してお願いします。図表等のデータ量が大きい場合はメールでは送れない事があります。その時は、CD-Rもしくはフラッシュメモリ等記録媒体での送付をお願いします。データ送付時に必ずウィルス対策ソフトでのチェックをお願いします。記録媒体の返却をご希望なされる方は必ず明記下さい。
- (6) 著作権は(公社)滋賀県理学療法士会へ帰属することをご了承願います。

3. 校正

著者校正は行いません。

4. 締切日 平成 28 年 10 月末日

5. 本誌への投稿，問い合わせ先 (ホームページにも掲載中)

原則、メールでの対応とさせていただきます。

e-mail : koto_shiga@yahoo.co.jp

(昨年度とは異なりますので、ご注意下さい)

件名には必ず「学術誌湖都」と入れてください。

〒 520-3223 湖南市夏見 1168

甲西リハビリ病院 リハビリテーション技術部 小原 典和

第6回 写真コンテスト 作品募集

滋賀県理学療法士会厚生部では、第6回写真コンテストを開催し、会員の皆様からの作品を大募集致します。多数のご応募をお待ちしております！



◆応募期間

平成28年4月11日(月)～
平成28年7月15日(金)

◆テーマ

【自由テーマ】

特にテーマを設けていません。応募写真のテーマは自由ですので、気軽にご応募ください。ご応募いただく作品には、必ず題名をつけていただくことを条件とします。

◆各賞

グランプリ(1名) 準グランプリ(1名) 優秀賞(5名)
士会長賞(1名) 厚生部長賞(1名) 参加賞(入賞者以外)
【各賞ごとに副賞を用意しております。】

◆審査方法・審査発表

滋賀学会の会場(7月31日:ピアザ淡海)にて会員による投票で決定します。
審査結果は本人連絡および士会ニュースで発表します。

◆応募方法

デジカメ・スマートフォンなどで撮影したものを下記までお送りください。件名を“写真コンテスト”とし、①写真題名、②氏名、③所属、④連絡先を記入してください。
※ファイルサイズが極端に大きい場合は、必ず圧縮してからお送りください。
応募先: ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp (ptshiga の後はアンダーバー)

◆注意事項

- ・応募は1人につき2点までとします。
- ・被写体の肖像権侵害等の責任は負いかねます。
- ・応募者本人が撮影し、すべての著作権を有しているものに限りです。
- ・全応募作品の使用権は滋賀県理学療法士会に帰属し、広報活動を含めたポスター展示・出版物等へ無償で使用させていただきます。
- ・公共性にそぐわないもの・不鮮明なもの等は、応募されても無効とします。

お問い合わせ先: 東近江市蒲生医療センター リハビリテーション科 奥田
TEL: 0748-55-1175 (代表)
滋賀県理学療法士会 厚生部

こんな本

読みました!



ヴォーリス記念病院

正木 了

【題名】

自然界の秘められたデザイン
雪の結晶はなぜ六角形なのか?

【著者名】

イアン・スチュアート

【訳者】

梶山 あゆみ

【出版社】

河出書房新社



本書は「雪の結晶はなぜ六角形なのか」、その素朴な疑問を出発点にして万物の「かたち」や「パターン」の不思議に目を向けながら、雪の結晶を軸に植物の形状、動物や貝殻の模様、砂丘、動物の脚の運び方、渦巻き、さらには素粒子から宇宙の構造へと数学的な視点に立って内容が展開されていきます。

一般的な雪の結晶は正六角形柱を幾層にも重ねた形状に近いとされ、六角形の面上はその垂直方向より水素原子を多く配置できます。その為、氷の結晶は平らな正六角形の板から出発していきます。一方、結晶は対称性に則してなれる形となれない形があり、雪の結晶の場合は一本の直線的な辺を六回コピーした六回対称性を持ちます。その一本の細部を拡大すると樹枝形のフラクタル構造が現れ、その細部構造をそれぞれ比較すると規則性の中に不規則性が存在し、その形状は多種多様です。如何にもカオスの要素が包含されているようです。

規則性やパターンを探るつもりでモノを眺めると、日々目にする身近な世界が一変するかもしれません。是非ご一読されることをお勧めします。

こんな本

読みました!



大津市社会福祉事業団

並河 孝

【題名】

働かないアリに意義がある

【著者名】

長谷川英祐 (進化生物学者)

【出版社】

メディアファクトリー



まず書名を見て、何が書いてあるのだろうと興味を引くテーマである。すぐに人間社会に置き換えて考えてしまい、早く読んでみたい衝動に駆られる。ハチとアリは常に働きものというイメージが昔からある。子どもの頃は、夜にお砂糖やお菓子のかけらを土の上に撒いておき、朝になるとアリが列を組んで巣の方からやって来ている。そして、大きなお菓子を口にくわえて戻って行く。巣の中では、女王アリのために黙々と働いているイメージがある。列を成して自分の体の割に大きな食べ物を運ぶアリたちを見て、すごいなあと感じた経験は誰にもあるはずである。しかし、実際は巣の中にいるアリの7割はボーッとされていて、その内1割くらいは一生働かないことがわかってきた。その働かないアリを取り除き、よく働いているアリばかりにすると、またその中から3割は働かなくなるようである。働かないアリがいるからこそ、組織が長く存続していけるというのが強調している大発見である。

職場がギスギスしていると感じている人には興味深い本である。ふつう組織は、働かない・働けない人を排除しようと動くが、上手くいったという報告は確かに少ない。組織にとって働かない・働けない人を必要枠であると、今一度考えさせられる自然科学書である。私たちが相談を受けることが多い障がいを持つ人たちの仕事について良いヒントとなる研究と感動した。自分なりに解釈すると、障がいがあるために、健常者のように働けない人が頑張っているからこそ、周りの人が共(友)に頑張れるし、みんなで頑張ろうとする組織の潜在力が働いていくというすばらしい組織的社会力を見ることがある。集団の中の余力の大切さと集団組織力、社会行動力とはそういうことかと納得させられた。正に働かないアリがいるからこそ、アリの社会が長く存続できるのです。興味のある方は、ぜひご一読ください。

新入会員歓迎会のご案内

今年も恒例の新人歓迎会を開催致します。この春、滋賀県理学療法士会へ入会されました新人理学療法士の方ならびに既存会員の方々、是非お誘い合わせの上ご参加の程よろしくお願い致します。

日 時：平成28年6月19日（日） 17：30～20：00

※新人研修会終了後に開催します。終了時刻により歓迎会開始時刻が変わる可能性があります。

会 場：あたか飯店 大津店

会 費：新入会員 無料

既存会員 3000円

交通手段：研修会会場から送迎バスを出す予定。



交流会も兼ねていますので、
既存会員の方々も是非参加
してください！

【各施設の代表者様へのお願い】

平素より士会活動にご尽力いただきありがとうございます。この春より新人理学療法士が入職されました施設におきましては、新人の方々へ歓迎会参加申し込みのご案内をよろしくお願い致します。

申し込み方法：新人研修会の申し込みと併せて生涯学習部宛にお申し込みいただくか、厚生部宛にE-mailにてお申し込みください。**どちらか一方でかまいません。**

申し込み先：E-mail taka-much@nagahama-hp.jp

(生涯学習部受付：研修会申し込みと併せて)

ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp (厚生部受付：歓迎会のみ参加の方)

※件名・氏名・所属・送迎バス利用の有無を必ず明記してください。件名は、生涯学習部宛の場合は“1年次新人研修会・新人歓迎会申込み”、厚生部宛の場合は“新人歓迎会申込み”としてください。

※飲酒の席ですので公共交通機関、送迎バスの利用をお願い致します。

また会場の駐車スペースが限られており駐車できない場合があります。

可能な限り送迎バスの利用をお願い致します。

前日・当日キャンセルについてはキャンセル料を徴収させていただきますのでご注意ください。

お問い合わせ先：東近江市蒲生医療センター リハビリテーション科 奥田

TEL：0748-55-1175（代表）

厚生部

新人教育プログラム必須研修のお知らせ

日 時 平成 28 年 6 月 19 日 (日)

会 場 ピアザ淡海会議室 207 会議室

申込方法 下記アドレスまで E-mail にて、事前にお申込みください。件名には、必ず「1 年次新人研修会・新人歓迎会申込み」と入れ、氏名・所属を明記して、新人研修会と新人歓迎会の出欠を一緒にお知らせください。送迎バスが出ますので、使用の有無についてもご記載ください。所属施設ごとの一括申し込みにご協力をお願いします。

なお、研修会の資料を配布いたしませんので、各自マイページからダウンロードしご持参いただきますよう、よろしくお願いいたします。

アドレス taka-much@nagahama-hp.jp

市立長浜病院 町本宛

申込期間 平成 28 年 5 月 20 (金) ~平成 28 年 6 月 10 日 (金)

定 員 70 名

*参加者には締め切り後、折返し連絡いたします

研修内容

9:40 ~ 10:40	A-1 理学療法と倫理
10:50 ~ 11:50	A-2 協会組織と生涯学習システム
13:00 ~ 14:00	A-3 リスクマネジメント (安全管理と感染予防を含む)
14:10 ~ 15:10	A-4 人間関係と接遇 (労働衛生含む)
15:20 ~ 16:20	A-5 理学療法における関連法規 (労働法含む)

会長行動録

2月27日(土) 武村衆議院議員面談
3月5日(日) 介護予防講座講師
3月10日(木) 執行理事会
3月11日(金) 滋賀医療技術専門学校卒業式
3月12日(土) 地域包括ケア推進会議
3月14日(月) 保健医療従事者研修会会議
3月21日(日) 全国士会長会議(東京)
3月21日(日) 全国三士会長会議(東京)
3月23日(水) 医療審議会

4月3日(日) 事務局移転作業
4月7日(木) 三士会基金打ち合わせ
4月10日(日) 松岡副会長との打ち合わせ
4月13日(水) 士会監査出席
4月14日(木) 理事会
4月16日(土) 自民党県連あいさつ
4月17日(日) 診療報酬情報交換会でのあいさつ
4月19日(火) POS 連絡協議会
4月23日(土) 臨時執行理事会

第31回滋賀県理学療法学会

開催日時：平成28年7月31日(日)(予定)

会場：ピアザ淡海(予定)

第3回定例研修会 内部障害研究会 第1回研修会のご案内

日時 平成28年7月2日(土)

会場 滋賀医科大学医学部附属病院第4会議室

テーマ 滋賀県のがんリハビリテーションについて徹底討論しよう

目的 がんリハビリテーションが広く認識されるようになり、県内でも多くの施設で算定が可能となってきました。しかし一言でがんと言ってもその種類や病期、化学療法、放射線療法による副作用等により、臨床症状は一様ではなく、多くの施設でその対応に苦慮されているのではないのでしょうか。今回はがんのリハビリテーションについて多施設で情報交換を行い、がんのリハビリテーションの理解を皆で深めることを目的とします。

第一部 多施設情報交換会

第二部 講演「痛みに対する薬物療法～癌性疼痛を中心に～」(仮)

講師 森井 博朗

滋賀医科大学医学部附属病院治験薬等管理室室長(薬剤師)

スケジュール 13時30分～受付

13時50分～15時20分 情報交換会

15時30分～16時30分 講演会

研修会費 県士会員：無料 他職種：1,000円

申込み先 rehabili@yasu-hp.jp@nosspam

申し込みの際は@nosspamを削除のうえ、送信して下さい。

野洲病院 中井 神田 宛 締め切り：6月24日(金)

※受付後、確認メールを送信いたします。確認メールをもって受付完了とさせていただきます。件名には必ず『内部障害研修会申し込み』とご明記ください。件名に入力がない場合には、迷惑メールと判断がしにくくなり、申し込みを見落とす可能性があります。また受講申し込みが確認されましたらその旨をメールにて返信致しますが、メールのブロックにより返信できない場合があります。受講申し込みの前には必ず受信許可をご確認ください。返信がない場合は受講申し込みができていない可能性があります。上記担当者までお問い合わせください。

他職種の参加大歓迎です。

その他 研修会に関する問い合わせは

滋賀医科大学医学部附属病院 藤田 岩井 迄
(077-548-2670)

第2回定例研修会 国体支援委員会 第2回研修会のご案内

- テーマ** スポーツに関わる理学療法士
- 日時** 平成28年6月18日(土) 14時～18時(受付13:30から)
- 内容** 昨年開催された和歌山国体でご活躍された角谷整形外科病院の貴志PTをお招きして国体までの準備、大会期間中の活動、大会後の課題等を中心にお話いただきます。
また、国体支援委員会の委員を中心としたスポーツ現場の活動報告を行います。
- 講師** 医療法人スミヤ 角谷整形外科病院 貴志 真也
国体支援委員会 委員
- 会場** 大津市旧大津公会堂 ホール(3F) ※京阪 浜大津駅徒歩3分
- 参加費** 県士会員：無料 他士会員・他職種：1,000円
- 申込方法** E-mailにて、①氏名(ふりがな)、②勤務先の施設名・TELを記入の上、事務局まで申し込んで下さい。

新人教育プログラムC-2単位認定されます
生涯学習基礎ポイントについては検討中です

なお、以後の連絡はE-mailにて行いますので、必ずパソコンよりお申し込みください。また、必ず1週間以内には返信しますので、返信がない場合は再度送信いただくかご連絡ください。

- 申込締切** 平成28年6月11日(土)
- 申込先** 〒520-0044 滋賀県大津市京町2-1-24
あそうクリニック
国体支援委員会 事務局(担当：森)
TEL：077-510-6580 FAX：077-510-6581
E-mail：pt.shigakokutai@gmail.com



第2回 東近江ブロック研修会

【日 時】 平成 28 年 8 月 21 日 (日)

(午前の部) AM10 時～ PM12 時 受付 9 時 30 分から

(午後の部) PM1 時～ PM3 時 受付 12 時 30 分から

【場 所】 近江八幡市立総合医療センター 1 階よしぶえホール

滋賀県近江八幡市土田町 1379 電話：0748-33-3151

【対 象】 リハビリ専門職 (PT・OT・ST) 地域包括ケア従事者

【内 容】

(午前の部) 「地域包括ケアについて」

(午後の部) 「地域ケア個別会議での助言者スキルアップ」

グループワーク

【講 師】

竹村 仁先生 大分県理学療法士会 理事

臼杵市医師会立コスモス病院

リハビリテーション部 室長

【主 催】

滋賀県理学療法士会 地域包括ケア推進委員会 東近江ブロック

【申し込み】

平成 28 年 6 月 1 日 (水) ～ 7 月 31 日 (日) までに e-mail にて

氏名 (ふりがな)、所属、連絡先 (TEL)、職種、圏域 (大津・湖南・甲賀・東近江・湖西・湖北・湖東)、出欠 (午前のみ・午後のみ・両方) を明記の上お申し込みください

(e-mail アドレス: higashiomib@yahoo.co.jp)

【問い合わせ】

東近江市蒲生医療センター リハビリテーション科 杉澤迄

電話：0748-55-1175 FAX0748-55-1178

滋賀県理学療法士会問い合わせ先一覧

✓ 事務局

ptshiga@ares.eonet.ne.jp 担当：ケアセンターおおつ 本白水

✓ 入会 異動 財務関係 公文書発送

異動届は協会ホームページ（マイページ）上から行うことになりました。

<http://www.japanpt.or.jp/>

info@shiga-pt.or.jp 担当：滋賀医大 平岩 TEL/FAX 077-548-2670

✓ 発送物関係 総務部

reha@otsu.jrc.or.jp 担当：大津赤十字病院 リハビリテーション科 奥田

折込発送物等あれば、毎月 25 日までにお申し出ください

折り込み発送物の発送先の発送範囲についてもお知らせください（会員のみ、関連団体込など）。

各部の事業の配布物に関しても発送に関しては総務部にご相談ください。

✓ ホームページ原稿受付

担当：kojin@belle.shiga-medac.jp 担当：滋賀医大 岩井

ホームページ <http://www.shiga-pt.or.jp>

✓ 士会ニュース原稿受付

shigaptnews@yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院 龍本

✓ 研修関係 研修部

ptshigakennsyukai@yahoo.co.jp 担当：小児保健医療センター 清岡

✓ 介護保険部

ptkaigohokennbu@yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院訪問リハビリテーション事業所 深江

電話 /FAX は 0748-62-3081

✓ 診療報酬部

rehabili@yasu-hp.jp 担当：野洲病院 辻村

TEL : 077-587-1332 FAX : 077-587-5004

✓ 生涯学習関係 生涯学習管理部

m-ikeya@pt-si.aino.ac.jp 担当：滋賀医療技術専門学校 池谷

TEL 0749-46-2322

✓ 厚生事業関係 厚生部

ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp 担当：東近江市蒲生医療センター 奥田

事務局 だより

6月分

○会員数 868 名 平成 28 年 4 月 25 日 (現在)

○賛助会員 6 社

施設理学療法士代表者の方へ

6月より新入会の方で、日本理学療法士協会の理事会承認がまだで申請中になっている方に対しても士会からの郵送物(士会ニュースなど)の発送をすることにいたしました。前月の25日までに入会申請された方の分まで含まれます。

協会費の割引制度について

シニア割引、育児休業割引などが始まっています。適応になる方は是非ご利用ください。詳しくは日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

<http://www.japanpt.or.jp/members/membership/fee/>

尚、士会費分 9000 円に関しては現在のところ割引制度はございません。ご了承ください。

異動申請について

4月で職場を異動された方で、異動申請のまだの方は至急、協会マイページより申請してください。元の職場の方に大変迷惑をおかけしますので、ご協力よろしく願いいたします。

一度でも事務局に郵送物が返送されて来ますと、連絡不能として郵送物の送付を停止させていただきます。特に自宅会員の方は、次の入居者の方にご迷惑がかかることがありますので、このように対応させていただきます。

尚、マイページで郵送物発送希望先を自宅にされている方でも勤務先会員の方は、県士会からの発送物は勤務先に発送いたしますのでご注意ください。

さい。自宅に発送されるのは日本理学療法士協会からの発送物のみになります。

会費未納の方へ

日本理学療法士協会より以下のようなアナウンスがありましたのでご注意ください。

注：士会からの発送分はこれまで通りです。

以下、日本理学療法士協会からの案内です。

年会費未納の方へ会報誌の発送を停止します。

これまで本会では、年会費の納入状況によらず在会員の方へ理学療法学および JPTA ニュースの送付などのサービスを行っておりましたが、当該年度の年会費が未納の方に対し、翌年度 4 月 1 日より会員権利を全面停止させていただくこととなりました。

何卒ご理解いただき、速やかな会費納入にご協力をお願いします。

これについては、以下の規程に基づきます。

(会費徴収規程 抜粋)

第 7 条 - 会費未納者に対しては、会員の権利を制限することが出来る。

2 前項の会費未納者とは、定款細則Ⅱ 4 に定める期日までに会費を納入していない者をいう。

3 第 1 項の会員の権利とは、理学療法学及びニュースの送付、選挙、学会及び研修会への参加等をいう。

4 第 1 項に定める権利の制限を行った場合、会費納入後の権利の遡及を行わない。

[運用開始時期]

平成 28 年 4 月発送分より

[対象者]

平成 28 年 4 月 1 日時点において、
平成 27 年度年会費が未納の会員
※年度途中で入金があった場合、納入が確認
できた次号より発送再開します。

[権利停止事項]

- 今回新たに停止となる事項
 - 理学療法学等の会報誌発送
 - 選挙権および被選挙権
 - 研修会への参加（既に施行済）
- 以上

会員異動について

所属施設の変更、県内外への異動、姓の変更、
自宅住所の変更などがありましたら必ず、日本理学
療法士協会ホームページにてお手続きください。紙
申請は平成 25 年 12 月で廃止されました。

ユーザー名やパスワードをお忘れの場合は「ID・
パスワード」再発行申請書を協会に送付して再発
行していただく必要がありますのでご注意ください。
申請書は協会ホームページの異動・休会・復会等
の手続きのページからダウンロードできます。

異動手続きを怠りますと協会や士会からの発送
物をお届けできないばかりか、転居後新しい住民
の方にご迷惑をおかけしますのでご協力お願いい
たします。

施設名の変更がありましたら、所属施設の責任
者の方のマイページから修正が出来ます。出来な
い場合は平岩までお知らせください。

発送物は昨年度から会員区分が施設の方は所
属施設の方へ発送することになりました（PT 協会
からの発送物を除く）。

県内の病院、施設等にお勤めの方は、必ず所

属施設をマイページで登録しておいてください。

日本理学療法士協会ホームページ

<http://www.japanpt.or.jp/>

よくある会員異動の問い合わせ

Q：マイページ上から会員異動の手続きの入力をし
たのですが、変更内容が反映されません。もう
一度申請しなおそうと思ってでもできません。

A：一旦、申請内容を確定されますと、士会で認
証するまで変更内容が反映されません。認証が
終わるまで数日お待ちください。

会員異動、会費関係問い合わせ先

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

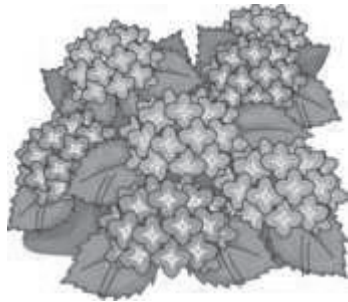
滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部

平岩康之 宛

問い合わせ info@shiga-pt.or.jp



編集後記



雨に映える紫陽花の花も美しい今日このごろ、皆さんいかがお過ごしですか。

体重増加に苦しむ私はジョギングを始めたのですが、運動後のビールは最高！

この調子だと、あと2～3kgは増加しそうです。皆さんは体調を崩されませんようお元気でお過ごし下さい。

車椅子に乗ったまま、2階に 手ごろな価格 簡易スタッカーリフト 合理化と省資源化で業界最安値水準を実現

- ・省スペース
最小半坪から、押入を転用しての設置も
- ・イージーオーダー
設置場所、障害の具合にあわせて対応
- ・ユニット式で工事簡単
新築でも、後付けでも、大掛かりな工事不要
- ・イージーメンテナンス
お客様にご負担をかける保守を低価格で



- ・家庭用電源 {100V 電源} を使用
特別な電気工事も不要です。
- ・今お住まいの家を住みよく
車いすでのバリアフリーな生活や便利な生活に新しいお住まいの間取り設計がより自由に

長年にわたり、数多くの、脳血管疾患、脊損、胸、腰損、頸損その他の障害をお持ちの方々やご高齢者の方にご利用いただいております。

詳細はパンフレットをごらんの上、気軽にご相談ください。患者さんや障害をお持ちの方の立場でご相談をお受け致します。

必要な患者様をご紹介してください

ユーウノ製作所株式会社

(営業本部) 東京都中央区日本橋2-10-11
三重県伊賀市横山 3440-1294
電話 0120-17-2434

SHIGA SCHOOL of Medical Technology

滋賀医療技術専門学校

～新しいリハビリテーション医学を学ぼう～

最速・最短・最小学費で国家資格を取得！

- ①理学療法学科・作業療法学科ともに最短資格取得の3年制！
- ②学費は3年間でわずか300万円！
- ③関連校である藍野大学への編入制度を計画中！

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町 967 番地

学校法人 藍野学院

滋賀医療技術専門学校

TEL：0749(46)2311

FAX：0749(46)2313

E-mail：shiga@aino.ac.jp

<http://www.aino.ac.jp>

